

発議案第6号

市内小中学校全教室へのエアコンの設置に関する要請決議について

上記議案を会議規則第14条の規定により、別紙のとおり提出します。

平成27年6月29日

大網白里市議会議長 花澤房義様

提出者	一色忠彦	
賛成者	田中吉夫	議員

別紙

市内小中学校全教室へのエアコンの設置に関する要請決議（案）

近年の温暖化の影響もあり、教室の室温が30℃を超える日も多くなってきていると思われる。教室室温等の学習環境が学力水準にも影響を与えていることも考えられる。

市内の小中学校は、全て災害時の避難所に指定されているが、東日本大震災を契機として、これまで以上に防災拠点としての学校施設の役割が重要視されるようになり、収容避難所としての機能強化が必要とされている。

普通教室にエアコンを設置することで、夏季休業期間の短縮などを行い、授業時間数を確保できるだけでなく、非常災害時には、高齢者や乳幼児の熱中症予防にも対応できる収容避難所としても活用することができる。

費用は、国の学校施設環境改善交付金（補助率1/3、対象工事費下限額4百万円、上限額2億円）や千葉県の放課後子ども環境整備事業補助金（補助率2/3、1施設上限1百万円）等を活用することによって圧縮することは可能であると思われる。

実際に、瑞穂小学校の学童保育室にエアコンを設置するのに、1,059千円かかるのところ、県から2/3が補助され、実質的な歳出は393千円である。仮に100教室あるとすれば、補助率1/3で計算し、かつスケールメリットを考慮しなくても、総額で約8千万円程度である。

駅前公衆トイレの改修に単費で約4千万円支出することを考えれば、決して経済合理性がない金額とは言えない。

既に、全国の小中学校（普通教室）のエアコン設置率は、32.8%（H26年4月現在）になっている。「公立学校へのエアコン設置」は市長の公約でもあり、早急に対応するよう強く要請する。

以上、決議する。

平成27年 月 日

大網白里市議会議長 花澤 房 義

大網白里市長 あて